



志 監 委 第 1 5 号
令和4年 7月20日

志賀町長 小泉 勝 様

志賀町監査委員 野崎 豊昭
同 越後 敏明

令和4年度定期監査（前期分）の結果について（報告）

地方自治法第199条第1項及び第4項の規定により定期監査を実施したので、同条第9項の規定によりこの結果を報告します。

令和4年度定期監査（前期分）結果報告書

1 監査の実施期間

令和4年6月30日（木）

2 監査の対象

環境安全課

3 監査の範囲

令和4年度に執行される財務に関する事務及び経営に係る事業の管理（ただし、必要に応じて前年度の事務を含む）。

4 監査の方法

監査に当たっては、財務に関する事務及びこれに関連する事務の執行が適正かつ効率的に執行されているか、組織及び運営の合理化が図られているか等を主眼として実施することとし、提出された関係書類の審査・点検を実施するとともに、事業の抽出により関係書類を検査するとともに、関係職員から説明を聴取した。

5 提出された調査書類

- ① 事務事業に関する調書
- ② 委託業務に関する調書
- ③ 工事に関する調書
- ④ 備品に関する調書
- ⑤ 補助金・負担金・交付金に関する調書
- ⑥ 町有財産に関する調書
- ⑦ 借受財産に関する調書
- ⑧ 貸付財産に関する調書
- ⑨ 懸案事項及び特に苦心する業務

6 監査結果及び所見

監査の結果、財務に関する事務及びこれに関連する事務の執行については、適正に執行されていると認められたが、一部の事業において、検討を要する事項が見受けられたので、以下のとおり意見、要望を述べる。

<意見要望>

ごみ減量化の推進については、環境対策につながることから、積極的な啓発活動等を行うよう要望する。また、指定ごみ袋の導入、生ごみ処理機の設置補助を実施されているが、羽咋広域圏内の構成団体と比較すると本町の1人当たりの排出量が多く、ごみの減量化・資源化をより一層進めていくよう務められたい。そのことが羽咋郡市広域圏の衛生費負担金の削減にもつながるものである。

さらに、重要な行政施設である消防施設の一部に借地があり、借地解消に務められたい。